

「深い学び」みるみるシート 名前【



本年度の研究テーマ

共にことばの力を育み主体的に学ぶ子ども
～めあてにせまるしかけづくりの授業～

9/25(金) 4年 2組 国語「ごんぎつね」

単元名：登場人物の気持ちの変化を読み取ろう。

指導事項：友達の創作した物語を、交流する視点を基に、良いところを伝えること

【主体的に学習に取り組む態度】



子どもの変容

Blank area for notes related to the child's transformation, outlined with a dashed green border.



教師のはたらきかけ
（「しかけ」の活用を含む）

Blank area for notes related to teacher's facilitation, outlined with a solid green border.



「深い学び」と言える理由

Blank area for notes related to the reasons for 'deep learning', outlined with a solid green border.



「深い学び」を導くためのポイント

Blank area for notes related to points for guiding 'deep learning', outlined with a solid red border.

「深い学び」みるみるシート(例)



10/1(木) 4年1組 国語「ごんぎつね」

単元名: 気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう。

指導事項: 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。 【思判表C(1)エ】

子どもの変容

【●●さん】

ずっと同じ場面を読んで「ごんは嬉しかった」と考えて止まっていたが、前の場面を読んだりノートを見返したりしながら再思考し始めた。そして、既習の内容から、ごんの兵十への思いの高まりを確認し、「嬉しさもあったけど、もっと兵十に近づきたかったという思いもある」と考えを変えた。

教師のはたらきかけ

【〇〇先生】

「あれ?ごんと兵十の関係は、最初の場面からずっと同じだったっけ?どうだったっけ?」と、机間指導しながら全員に聞こえるようにつぶやいた。

「深い学び」と言える理由

他の場面と結び付けたり比較したりしながら再思考を始め、考えを深めたから。

「深い学び」を導くためのポイント

既習の内容と行ったり来たりしながら考えることを促す教師の「つぶやき」や「追発問」。
(大きな発問でなくてよい)

主体的・対話的で深い学びが生まれる活動例

	授業改善に向けた『学習者』の視点	授業改善に向けた『授業者』の視点
主体的な学び	● 学ぶことに興味や関心を持つ ● 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける ● 見通しをもつ ● 粘り強く取り組む ● 自己の学習活動を振り返って次につなげる 	● 既習事項を振り返る ● 具体物を提示して引きつける ● 子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する ● 子供が自らめあてをつかむようにする ● 学習課題を解決する方向性について見通しを持たせる ● 子供が自分の考えを持つようにする ● 子供の思考を見守る ● 子供の思考に即して授業展開を考える ● 子供の考えを生かしてまとめる ● その日の学びを振り返る ● 新たな学びに目を向けさせる
対話的な学び	● 子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める ● 教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ● 地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ● 先哲の考え方を手掛かりに考える	● 思考を交流させる ● 交流を通じて思考を広げる ● 協働して問題解決する ● 板書や発問で教師が子供の学びを引き出す
深い学び	● 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる ● 知識を相互に関連付けてより深く理解する ● 情報を精査して考えを形成する ● 問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう	● 資質・能力を焦点化する（つきたい力を明確にする） ● 単元や各授業の目標を把握する ● ねらいを達成した子供の姿を具体化する ● 教材の価値を把握する ● 単元及び各時間の計画を立てる ● 目標の達成状況を評価する